

2022年度 事業報告書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

特定非営利活動法人 こども緊急サポートふくしま

1 事業の成果

2022年度における当法人の活動は、福島市子育て援助活動支援事業（ファミリーサポート事業）の病児・緊急対応強化事業（下記①）と、その枠に入らない子育て支援事業（下記②③）を実施しました。また、下記①②③に係る新規従事者を養成する研修会を行いました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所 (C)実施人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費 (単位：千円)
①病児・病後児、障がい児を含む保育及び一時保育事業	<ul style="list-style-type: none"> ・病児・病後児の預かり ・発熱・早朝・夜間等の緊急時の子どもの預かり ・宿泊を伴う子どもの預かり ・上記に伴う送迎 	日時：通年 場所：福島市内 人数：39名	登録：308名 子供：808名	基本プラン 11737千円
②子育てに関する困りごと相談などの子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事と子育ての両立を応援する ・保護者がゆとりを持って子育てが出来るようにサポートする ・学校や学童等の送迎 	日時：通年 場所：福島市内 人数：39名	登録：63名 子供：1442名	プレミアムプラン 2740千円
③家族及び保護者自身の心身の健康を促進する事業	<ul style="list-style-type: none"> ・産前産後の家事支援 ・保護者のリフレッシュ ・保護者の通院（歯医者等）や病気時の支援 	日時：通年 場所：福島市内 人数：39名		

(2) その他の事業

スタッフ会員養成研修会 2022年6月14日から6月17日

スタッフ会員養成研修会 2022年9月27日から9月30日 2回計263千円（基本プランに含む）

補足：Cは子育て支援に係るスタッフ会員数（新規会員見込み含む）

（①と②③に係るスタッフは重複する）

Eは登録している親の数と、利用した子どもの延べ人数

①. 病児・病後児、障がい児を含む保育及び一時保育事業について

別称：福島市委託事業または基本プラン

1. 病児預かり 2. 前日・当日の急な預かり+送迎 3. 早朝・深夜の預かり 4. 宿泊を伴う預かりを実施しました。登録者は308名。利用した子どもの数は延べ808名。

8月の病児預かり事例。2歳女子が2日間ご利用。熱はありましたが、PCRでは陰性でした。1日目は熱があっても、遊びに夢中になっていました。2日目は朝からダルそう。食欲もなく、遊ぶ気力もないようで、7.5時間の預かりでしたが、終日ボーっとした感じでした。

9月の病児預かり事例。3歳・2歳の姉弟のご利用。回復期なので熱は2人共に37℃以下。体調も安定しているようで「お昼寝は？」「しなあい」の返答あり。途中のおやつタイムを挟み、その前後はそれぞれに好きな遊びをしていました。

5月の送迎+預かり事例。1歳・女子が慣らし保育目的で延べ15日間利用。保育所からの帰宅時間が日によって変わるため、スタッフはそれに合わせての活動でした。初日は11時お迎えでスタッフ宅へ移動。人見知りのない子で、昼食とお昼寝を挟み、18時まで一緒に遊びました。最終日は16時お迎えで、短い時間での預かりでしたが近所のブランコで遊びました。

10月。兄弟の診察待ち時間預かり。0歳男子のご利用。母は上の子の受診の為に小児科へ。その際、（下の子）0歳を自宅または小児科のロビーに置いておけないので見て欲しいという依頼がありました。この日は時間のかかる検査や点滴がなかったので、小児科で待ち合わせしてロビーで1時間程度の活動でした。

11月のスタッフ宅預かり事例。2歳男子のご利用。お母さんは、下の子を小児科に連れて行く用事があつての預かりです。この男の子は離れるのが不安で「お母さんの所に行く」と繰り返すので、外に出れば落ち着かと思い、神社の遊具まで歩きましたが遊ぶ気分ではなかったようです。

	病児預かり	宿泊を伴う 預かり	急な預かり	送迎	計
4月	8	0	38	28	74
5月	4	0	34	21	59
6月	2	0	19	44	65
7月	4	2	27	28	61
8月	6	0	23	16	45
9月	3	3	37	38	81
10月	1	0	42	33	76
11月	1	2	44	19	66
12月	2	0	41	25	68
1月	0	1	37	25	63
2月	0	0	54	26	80
3月	1	0	53	16	70
計	32	8	449	319	808



②子育てに関する困りごと相談などの子育て支援・③家族及び保護者自身の心身の健康を促進する事業
別称：委託枠外事業または独自プラン・プレミアムプラン

基本プラン1～4以外の支援。具体的には、緊急性が低い子どもの預かりや送迎。産前産後の家事支援。保護者のリフレッシュ目的でのご利用等。登録者は63名。利用した子どもの数は延べ1442名。

11月。託児ルーム預かり事例。7歳4歳の姉妹がご利用。朝から夕方までは、それぞれに遊んだり、一緒に遊んだり。その後、7歳の子は学校の宿題があるようで勉強を始めました。すると、下の子も自分だけ遊んでいられないと思ったのか、数字数えを始めました。でも、上の子は漢字と算数を少々勉強した後は、（実際の所）タブレットでパズル遊びをしていたのですが、下の子は遊んでいるとは気づかなかったようです。

12月。0歳女子の預かり+家事支援事例。おんぶして外を散歩。おんぶして食器洗い。おんぶして掃除機をかける。寝たのを確認して、布団に降ろそうとすると起きる。おんぶすると、そのうち寝る。つまり、おんぶされていると安心する子で、おんぶの状態であれば多少動かされても平気で眠れるようです。散歩中にベビーカーでも寝ていましたので、多少の揺れに心地よさを感じる子なのかもしれません。

6月。家事支援を含む5兄弟の支援を19日間。6/3は昼頃に大雨でした。2歳の子は雨上がりの水たまりが楽しいようで泥んこ遊びとなりました。6/6。0歳の子は18時頃に寝ていましたが、兄たちが帰って来た声で起きました。そして、ニコニコと嬉しそうな表情をしていました。6/29。上3人が通っているプール教室で今月のテストがありました。そこで合否が分かれ、気分はそれぞれでした。

8月。6歳女の子のスタッフ宅預かり事例。夕飯として、ホットドッグ、玉子サンド、オニオンスープを作りました。お手伝いを希望したので、火と包丁を避けて、ゆで卵を潰して味付け、パンに（冷ました）ウィンナーとレタスを挟んでケチャップをかける等々を、様子を見ながらやってもらいました。それが楽しかったようで、別の日にも「今日もお手伝いする」と言っていました。別の日に作ったのは冷やし中華です。

	預かり	送迎	家事支援	託児	計
4月	47	74	14	0	135
5月	34	60	8	0	102
6月	39	70	14	3	126
7月	57	70	9	0	136
8月	44	53	14	0	111
9月	46	71	6	0	123
10月	44	70	8	0	122
11月	40	71	10	0	121
12月	40	66	10	4	120
1月	36	76	10	0	122
2月	22	59	9	0	90
3月	45	77	12	0	134
計	492	817	124	7	1442



養成研修会の内容は、活動中の補償保険適応との兼ね合いで、女性労働協会が規定する内容になります。
心の発達とその問題・保育の心・小児看護の基礎知識・子どもの遊び・安全と事故・子どもの栄養と食生活・
身体の発達と病気など全24時間。

その内容を1回目は2022年6/14日、15日、16日、17日 の全4日、場所・福島市市民会館で行い、参加者13名、修了者8名でした。2回目は9/27日、28日、29日、30日の全4日、場所・事務所の託児室で行い、参加者5名、修了者2名でした。他、今年度に補講を修了された1名を含め新規登録は12名。

